

—今週の誕生者—

—集 会 状 況—

	男	女	計
主 日 礼 拜	11/17	18	51 69
教 会 学 校	11/17	11	17 28
成 人 科	11/17	1	4 5
野村港南台集会	11/20	1	4 5
入 門 講 座 I	11/21	2	8 10

—牧 師 室 か ら—

衣笠病院の木村知己牧師を招いて、地区婦人会が持たれた。献堂式後、始めて地区の集会に新会堂を利用していただいた。百名を越える方々が見え、講演と新会堂を喜んでくださった。

木村先生の講演は、高齢期にも喜びと豊かさがあると始められ大いに希望を持ったが、幾多の実例を挙げられ、老いと死を受容する困難さを改めて思わされた。

先生は、真実に直面する勇気が必要である。問題を避けたり、安直な慰め、癒しでなく、今置かれている現実を直視し受け入れる心が大切である。そのためには、老いと死の悲しみと喪いを共有する隣人の有無が決定的に左右すると語られた。そして、人間の最後の問題は「孤独」であり、体の痛みは取り除かれても、孤独の痛みは取り除かれない。自分の全てを訴えられる方を持っているか、いなかで孤独の痛みは違ってくる。クリスチャンは、十字架の死の中から復活され、今も共にいてくださるイエス・キリストを知っている。この信仰の意味をパウロの言葉から力説された。

豊かな老後を迎えるために、痴呆は病気であり老齡期の知的後退とは違うと話された後、①過度な酒、煙草、薬物は知的後退を早める。②依存的でなく、自立した生活態度を築く。③教条主義的、倫理主義的でなく、互いに受容し合える巾の広い人格形成を目指す。等を挙げられた。耳が痛い。

週 報

1991年11月24日 降誕前第5主日

感謝祭・謝恩日

巻 12 34号

1991年度教会主題

「神の国は私たちの間にある」

聖 句 ファリサイ派の人々が、神の国はいつ来るのかと尋ねたので、イエスは答えて言われた。「神の国は、見える形では来ない。『ここにある』『あそこにある』と言えるものでもない。実に、神の国はあなたがたの間にあるのだ。

ルカによる福音書 17章20節～21節

- 目 標
1. 生活を整えて礼拝、諸集会を守る。
 2. 新会堂を献げ、共に宣教に励む。

日本キリスト教団

横浜港南台教会

〒233 横浜市港南区港南台 7丁目-8-29

電話 045-833-5323、045-833-6616

振替 横浜 9-13994

牧 師 秋 吉 隆 雄